

第2学年1組 算数科学習指導案

令和7年10月15日(水) 第5時限 2年1組教室

1 単元 かけ算(2) (11時間完了 本時 11/11)

(1) 目標

- ① アレイ図を使った九九の構成やかけ算が用いられる場面について理解し、かけ算の式に表したり、九九を唱えたりして、問題を解くことができる。 (知識・技能)
- ② アレイ図をもとに、かける数が1増えると積はかけられる数だけ増えることを使って、九九を構成することができる。 (思考力・判断力・表現力等)
- ③ かけ算九九の構成を追究し、友達との関わりから考えの視野を広げて、かけ算を用いることのよさを実感することができる。 (再構築する力)

(2) 目標に近づくための指導構想

子どもの実態

- ・単純な計算問題はスムーズにできていても、既習事項を使って問題を解いたり、自分の考えを絵や図、言葉で表現したりすることが苦手な児童がいる。
- ・友達の考えには真剣に耳を傾け、受け入れようとする姿は見られるが、それ以上の広がりが見られない。
- ・答えを求めて満足してしまい、友達の考えを取り入れたり、自分の考えを見直したりする姿勢が弱い。

○児童の活動 ●教師の支援

学習内容	手だて	時間
1 6のだんの九九をつくろう。 ○数図ブロックを用いて、6の段の九九を作る。 ○6の段の九九を覚える。	●1箱分の数、2箱分の数というに具体的な場面として考えることができるようにするために、1箱6個入りのたい焼きの絵を示す。	2
2 7のだんの九九をつくろう。 ○数図ブロックを用いて、7の段の九九を作る。 ○7の段の九九を覚える。	●かける数が1増えると、7ずつ増えていることに気付くことができるようにするために、アレイ図を用いる。	2
3 8のだんと9のだんの九九をつくろう。 ○2の段から7の段までの九九を振り返り、8の段と9の段の構成を考える。	●かける数とかけられる数の関係性が理解できるようにするために、1枚のピザが8等分になっている絵を示し、4枚分では何切れになるかと問う。	3
4 1のだんの九九について知ろう。 ○1の段の九九を作り、気付いたことを発表する。	●1の段はかける数が答えになることに気付くことができるようにするために、九九表を用いる。	1
5 かけ算のもんだいをつくってはっぴょうしよう。 ○絵を見て、かけ算の問題を作り、作った問題をチームで発表する。	●自由な発想で問題作りに取り組めるようにするために、様々な挿絵を用意する。 ●事象と式の結びつきが確認しやすいようにするために、「もんだいカード」を用意する。	1
6 じゅんに考えて計算しよう。 ○かけ算とひき算やたし算が組み合わせた問題の解き方を考える。	●問題場面を捉えることができるようにするために、挿絵をもとにしたり、問題を図に整理したりする。 ●順序を考えて計算するように促す。	1
7 のこりのチョコレートの数を、かんたんなほうほうをつかってもとめよう。 ○L字型に並んだものの数を、同じまとまりに注目して、かけ算を使って考えたり、説明したりする。	●かけ算を用いて考えるように伝える。 ●様々な方法で求められることを捉えられるようにするために、答えを求め終わったら、他の工夫をして立式するように声掛けをする。	1 本時 (11/11)

目指す子どもの姿

- ・自分に合った方法で、自分の考えを式や図、言葉などを用いて表現することができる。
- ・チームでの聴き合いから、自分と友達の考えと照らし合わせることで、かけ算の仕組みをより深く理解することができる。
- ・1つの考え方に固執しないで、友達の考えから様々な解き方があることを知り、算数の面白さに気付くことができる。

2 本時の学習

(1) 目標

- ① 同じ数のまとまりに目を付けて、かけ算の式で表現し、答えを求めることができる。 (思考・判断・表現等)
- ② チョコレートの数の求め方を追究し、友達との聴き合いから考えの視野を広げて、自他の考え方のよさを実感し、効率的な求め方を理解することができる。 (再構築する力)

(2) 展開

学びに向かう準備	学習課題 のこりのチョコレートの数を、かんたんなほうほうをつかってもとめよう
	予想される子どもの反応 <ul style="list-style-type: none"> ・全体からなくなった部分のチョコレートの数を引けばいいんじゃないかな。 ・縦に5つ並んでいるから、5の段が使えるんじゃないかな。

○児童の活動 ●教師の支援 ●活動2への支援

学び方を選択する・学びに向かう	【活動1】 のこっているチョコレートの数を工夫して求める。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">自分でチャレンジ!</p> <p>○同じ数ずつのまとまりを見つけて丸で囲んだり、式を考えたりする。</p> <p>●一通りの考え方が見つかったら、別の考え方がないか問い、様々な解き方を見つけることができるように促す。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">ヒントでチャレンジ!</p> <p>○あらかじめ図に丸で囲んであるヒントを参考にして、計算の仕方を考える。</p> <p>●縦のまとまり、横のまとまり、縦と横のまとまり、全体からない部分を引いて求める4種類の方法に取り組むよう促す。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">たっぷりヒントでチャレンジ!</p> <p>○あらかじめ図に丸で囲んであるヒントに加え、立式のヒントとなるような穴埋め式のワークシートを用いて考える。</p> <p>●かけ算に心算がある児童には、九九表を見てもよいと伝える。</p> <p>●視覚的な支援となるように、まとまりごとに色分けをする。</p> </div> </div>
	聴き合う・学び合い

自分を振り返る	【活動3】 自分と友達の考えを比べて、本時の振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・初めは、横のまとまりだけで考えていたけれど、友達の考えを聞いて、縦と横どちらのまとまりも使っていると計算がしやすいということが分かった。 ・初めは、全体を見ての考え方が思いつかなかったけれど、〇〇さんの考えを聴いて、全体からない部分を引いて考える方法が意外と簡単だと分かった。 ●「自分の考えと、友達の考えを比べて自分の考えをこう変えたよ」と書けるように促す。
---------	--

(3) 評価

- ① 同じ数のまとまりに注目して、いろいろな方法で答えを求めようとすることができたか。
(活動1のワークシートの内容や、活動2の説明をする様子から)
- ② 友達の考えに耳を傾け、共通点や相違点に気付きながら、自分の考えを見直したり、よりよい方法を見つけようとしたりすることができたか。
(活動2の聴き合い・適用題に取り組む様子や、振り返りの内容から)